

新入生アンケートに見られる 平成 27 年度入学生の特徴

原田徳彦*1 長廣恭子*2 森崎哲也*3

西尾幸一郎*4 松尾葉子*5

The Characteristics of the Freshmen in 2015 —An Analysis Based on the Results of a Questionnaire to the Freshmen—

Norihiko HARADA, Kyoko NAGAIHIRO, Tetsuya MORISAKI
Koichiro NISHIO and Yoko MATSUO

Abstract

The most critical and frequent problem the student consultation office concerns with at National Institute of Technology, Tokuyama college, is the adaptive failure to a student's specialty. We have been conducting a questionnaire to the freshmen since 2001. It is made use in the individual support that we grasp the characteristic of the freshmen of 2015. At the same time, it can be exploited for a guidance of the PR activity for junior high school students not to cause maladjustment after entrance to college. In this paper, we examine items influencing learning will of students and infer the policy.

Key Words : learning will of students, maladjustment, questionnaire to freshmen

1. はじめに

徳山高専学生相談室では、平成 13 年度から「学生相談室プログラム」*の一環として新入生アンケートを実施している。新入生アンケートはオリエンテーションの学生相談室の紹介の中で行う。アンケートは記名式で、学生個人の入学時の心の状態を把握し、その後の学生生活のサポートに資することを目的と

する。

学生相談で最も多く深刻となる問題は工学を専門とする高専への適応の躓きだろう。徳山高専への入学が不本意だった学生、入学した学科が不本意だった学生、入学したことに満足していない学生、学習意欲が低い学生、これからの学生生活を楽しみと思えない学生を把握し、学生相談員との面談へつなぐ。

*1 情報電子工学科

*2 一般科目（数学）

*3 機械電気工学科

*4 土木建築工学科

*5 学生課学生係

*学生相談室プログラムについては、国重、佐々木¹⁾や佐々木、国重²⁾に詳しく論じられている

面談の誘いは他の学生に分からない様に手紙を渡す方法をとっている。強制はしないので面談に来ない学生もいるが、本当に困ったときに相談に来やすいように、学生相談室の存在を認識させておくことにも意義があるだろう。

少子化による受験者数の減少が新入生の特性に与える影響を知るため、比較的志望倍率の高かった平成16年度と平成26年度の新入生アンケートの結果を比べ報告した³⁾。意外にも、新入生の学習意欲、学生生活への期待、入学の満足感はいずれも上昇し、好ましい状態であることが分かった。

本稿では、入学後の適応に影響を与えると思われる入学時の学習意欲について、入学の動機など関連する事項を検討しながら、今年の新入生の特徴を探る。

2. 新入生アンケート

新入生アンケートは、鳴澤(1998)⁴⁾の東京都立大学新入生対象アンケートを徳山高専に修正し作成したものである。

アンケート対象は、平成27年度一年生全員127名(機械電気：42名、情報電子：44名、土木建築：41名)である。アンケートの回収率は100%であった。

以下に、アンケートの質問項目と回答を示す。回答はパーセンテージで()内に示してある。

1. あなたは自宅から通学していますか、それとも寮生ですか。

(a) 自宅通学生	101 (79.5)
(b) 寮生	26 (20.5)
2. あなたは中学校時代にクラブ活動に参加していましたか。

(a) はい	125 (98.4)
(b) いいえ	2 (1.6)
3. あなたが徳山高専に進学を決定したのはいつですか。

(a) 小学生の頃	6 (4.7)
(b) 中学1年生の頃	13 (10.2)
(c) 中学2年生の頃	23 (18.1)
(d) 中学3年生の頃	85 (66.9)
4. 徳山高専はあなたが第一に志望した学校ですか。

(a) はい	119 (93.7)
(b) いいえ	8 (6.3)

5. あなたは徳山高専の本当に入りたかった学科に入れましたか。

(a) はい	127 (100)
(b) いいえ	0 (0.0)
6. あなたが徳山高専に入学した動機は何ですか、次の該当するものすべての記号を○で囲んで下さい。

(a) 入学しやすい	1 (0.8)
(b) いいところに就職できる	83 (65.4)
(c) 通学の便がいい	6 (4.7)
(d) 経済的な理由	10 (7.9)
(e) 先生や親にすすめられた	49 (38.6)
(f) 自由な校風だから	36 (28.3)
(g) 先輩・知人がいる	19 (15.0)
(h) 兄弟がいる	7 (5.5)
(i) 自分の志望に合っている	87 (68.5)
(j) 他に入学するところがなかったから	1 (0.8)
(k) 何となく	4 (3.1)
(l) その他	6 (4.7)
7. あなたは中学校時代に満足のいく学校生活が送れたと思いますか。

(a) とても満足している	75 (59.1)
(b) 一応満足している	46 (36.2)
(c) あまり満足していない	4 (3.1)
(d) 全く満足していない	1 (0.8)
8. あなたは徳山高専に入学できて満足していますか。

(a) とても満足している	91 (71.7)
(b) 一応満足している	35 (27.6)
(c) あまり満足していない	1 (0.8)
(d) 全く満足していない	0 (0)
9. あなたが徳山高専に入学した目的は何ですか、次の該当するものすべての記号を○で囲んで下さい。

(a) 専門的な学問・技術を身につけるため	108 (85.0)
(b) 教養を高め人間的に成長するため	41 (32.3)
(c) 先生や友人と交流するため	19 (15.0)
(d) いいところに就職するため	73 (57.5)
(e) 学生生活をエンジョイするため	36 (28.3)
(f) 専攻科や他の大学に進学するため	29 (22.8)

- (g) 何とはなしに 4 (3.1)
- (h) その他 5 (3.9)
- 1 0. 現在、あなたの勉強への意欲は次のどれですか。
- (a) 十分意欲がある 65 (51.2)
- (b) 一応意欲がある 57 (44.9)
- (c) あまりない 4 (3.1)
- (d) 全くない 1 (0.8)
- 1 1. あなたは徳山高専での勉強についていけるかどうか不安ですか。
- (a) とても不安である 70 (55.1)
- (b) 少し不安である 48 (37.8)
- (c) あまり不安ではない 8 (6.3)
- (d) 全く不安ではない 1 (0.8)
- 1 2. 周りの新入生が自分より勉強面で優れているように思いますか。
- (a) 強くそう思う 66 (52.0)
- (b) 少しそう思う 51 (40.2)
- (c) あまりそうは思わない 6 (4.7)
- (d) 全くそうは思わない 4 (3.1)
- 1 3. 自分には徳山高専で友人ができないのではな
いかと心配ですか。
- (a) とても心配である 17 (13.4)
- (b) 少し心配である 58 (45.7)
- (c) あまり心配ではない 39 (30.7)
- (d) 全く心配ではない 13 (10.2)
- 1 4. あなたは徳山高専での学生生活がどのくらい
楽しみですか。
- (a) とても楽しみである 81 (63.8)
- (b) 少し楽しみである 44 (34.6)
- (c) あまり楽しみではない 2 (1.6)
- (d) 全く楽しみではない 0 (0.0)
- 1 5. あなたは自分が将来どんな職業につき、どん
な人になりたいか、すでに心の中で決めてい
ますか。
- (a) はい 69 (54.3)
- (b) いいえ 58 (45.7)
- 1 6. あなたは中学時代に個人的に打ち明け話をし
たり、相談に乗ってもらえるような同性の親
友がいましたか。
- (a) はい 116 (91.3)
- (b) いいえ 11 (8.7)
- 1 7. あなたは徳山高専に知り合いの人がいますか。
- (a) はい 109 (85.8)
- (b) いいえ 18 (14.2)
- 1 8. あなたは徳山高専に個人的に打ち明け話をし
たり、相談に乗ってもらえるような同性の親
友がいますか。
- (a) はい 55 (43.3)
- (b) いいえ 72 (56.7)
- 1 9. あなたはある程度親しくつき合っている異性
の友人がいますか。
- (a) はい 60 (47.2)
- (b) いいえ 66 (52.0)
- 無回答 1 (0.8)
- 2 0. 今までに、反抗して親を手こずらせたことが
ありますか。
- (a) はい 67 (52.8)
- (b) いいえ 59 (46.5)
- 無回答 1 (0.8)
- 2 1. 今までに、失敗や挫折をしてすごく悩んだこ
とがありますか。
- (a) はい 74 (58.3)
- (b) いいえ 53 (41.7)
- 2 2. 学生相談室で相談できるとしたら、あなたは
次のどのような内容について相談してみたい
ですか。該当するものすべての記号を○で囲
んで下さい。
- (a) 勉強のこと 104 (81.9)
- (b) 今まで知らなかった人たちとの出会いに
関すること 30 (23.6)
- (c) 家庭のこと 5 (3.9)
- (d) 自分の性格のこと 19 (15.0)
- (e) 心の健康に関すること 4 (3.1)
- (f) 体の健康に関すること 9 (7.1)
- (g) 性に関すること 0 (0.0)
- (h) 友人関係のこと 22 (17.3)
- (i) 恋愛に関すること 9 (7.1)
- (j) 徳山高専が自分に合っているかどうかに関
すること 26 (20.5)
- (k) 進学のこと 29 (22.8)
- (l) 就職のこと 47 (37.0)
- (m) その他 3 (2.4)
- 2 3. 前問で挙げてある項目の中で、「今すぐ」あな
たが相談をしたい事柄があれば、その記号を
すべて○で囲み、具対的に詳しくその相談内
容を自由に書いてみて下さい。
- ※以下の質問には、寮生の人だけ答えて下さい。
- 2 4. 寮生活全般に関して不安を感じていますか。
- (a) とても不安である 4 (15.4)
- (b) 少し不安である 14 (53.8)
- (c) あまり不安ではない 7 (26.9)
- (d) 全く不安ではない 1 (3.8)
- 2 5. 家族から離れて一人で生活するので寂しく思

いますか。

- (a) とても寂しい 4 (15.4)
- (b) 少し寂しい 7 (26.9)
- (c) あまり寂しくない 12 (46.2)
- (d) 全く寂しくない 3 (11.5)

2 6. 寮を出て自宅から通学したいですか。

- (a) 是非自宅通学したい 1 (3.8)
- (b) 少し自宅通学したい 6 (23.1)
- (c) あまり自宅通学したくない 9 (34.6)
- (d) 全く自宅通学したくない 10 (38.5)

2 7. 現在、あなたは寮生活に関して学生相談室で相談をしてみたいような事柄や悩みがありますか。

- (a) はい 1 (3.8)
- (b) いいえ 25 (96.2)

2 8. (2 7. で、「はい」と答えられた方へ) それはどのような事柄や悩みですか、次の該当するものすべての記号を○で囲んで下さい。

- (a) 一人暮らしについて 0 (0)
- (b) 寮の施設・設備について 0 (0)
- (c) 先輩との関係について 0 (0)
- (d) その他 1 (3.8)

2 9. 寮生活に関する質問や悩み、訴えたいこと、「今」何となく考えていることなど何でもかまいません。自由に書いて下さい。

3. アンケート結果に見られる主な特徴

図 1 の学科ごとの男女比をみると、土木建築工学科において女子の割合が高い。昨年比でも約 2 割の上昇率となっている。

問 1 「あなたは自宅から通学していますか、それとも寮生ですか。」の結果を図 2 に示す。情報電子と土木建築における寮生の割合が高い。

問 3 「あなたが徳山高専に進路を決定したのはいつですか。」の結果を図 3 に示す。情報電子では他学科に比べ、「中学 3 年」と答えた割合が高く、進路決定の時期が遅い。中学校の 1・2 年に対する PR が期待される。

問 4 「徳山高専はあなたが第一に志望した学校ですか。」の結果を図 4 に示す。なお、問 5 「本当に入りたかった学科に入れましたか。」の問には全員が「はい」と答えている。

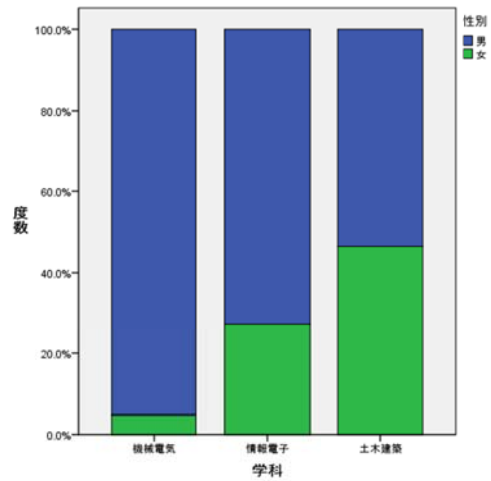


図 1 男女の割合

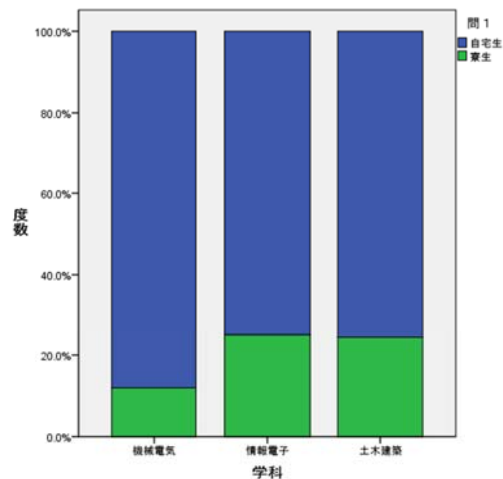


図 2 自宅生・寮生の割合

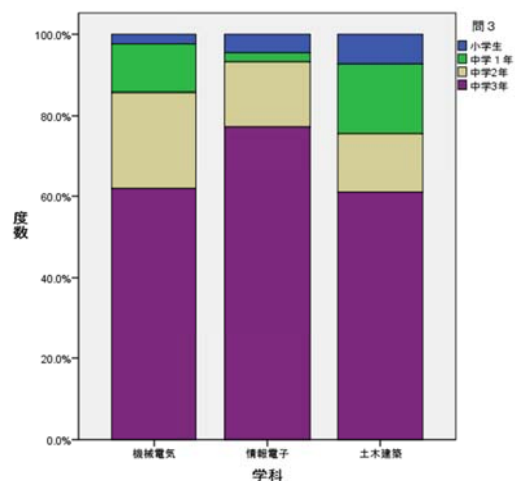


図 3 志望の決定時期

問 6「あなたが徳山高専に入学した動機は何ですか、次の該当するものすべての記号を○で囲んで下さい。」の結果を図 5 に示す。「いいところに就職できる」が一番多い理由であり、「自分の志望に合っている」が次に多い理由である。昨年に比べ前者が減少、後者が増加している。

問 8「あなたは徳山高専に入学できて満足していますか。」の結果を図 6 に示す。今年は特に、情報電子の入学に対する満足の割合が大きくなった。

問 9「あなたが徳山高専に入学した目的は何ですか、次の該当するものすべての記号を○で囲んで下さい。」の結果を図 7 に示す。入学の目的について、「専門的な学問・技術を身につける」が 85.0%と高い。「進学するため」と答えた割合は 22.8%と昨年の 14.9%に比べ増加した。

問 10「現在、あなたの勉強への意欲は次のどれですか。」の結果を図 8 に示す。今年は特に、土木建築の学習意欲が高くなった。

問 11「あなたは徳山高専での勉強についていけるかどうか不安ですか。」の結果を図 9 に示す。比較すると、機械電気に強い不安を持つ学生の割合が大きい。

問 14「あなたは徳山高専での学生生活がどのくらい楽しみですか。」の結果を図 10 に示す。3 学科共に学生生活への期待が高い。

問 15「あなたは自分が将来どんな職業につき、どんな人になりたいか、すでに心の中で決めていますか。」の結果を図 11 に示す。比較すると、土木建築において自分の将来像を描けている学生の割合が高い。

問 19「あなたはある程度親しくつき合っている異性の友人がいますか。」の結果を図 12 に示す。比較すると、情報電子においてつき合っているという学生の割合が低い。

問 20「今までに、失敗して親をてこずらせたことがありますか。」の結果を図 13 に示す。比較すると、土木建築において親をてこずらせたことがあるという割合が高い。

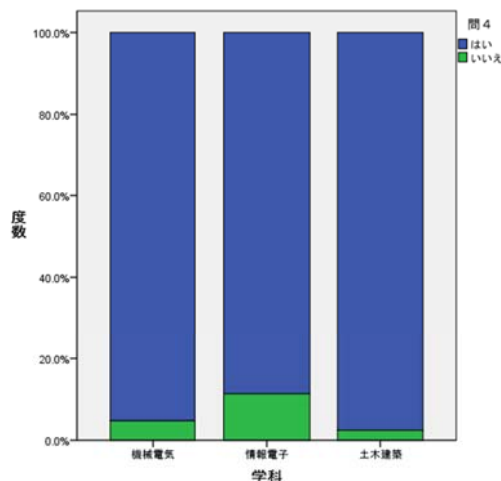


図 4 第一志望の割合

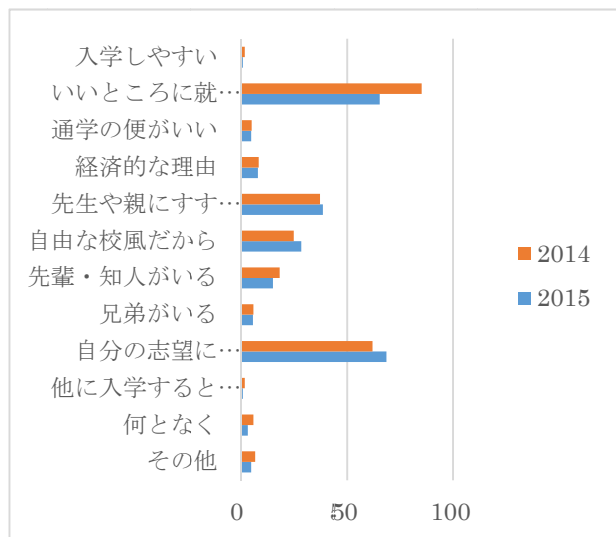


図 5 入学動機

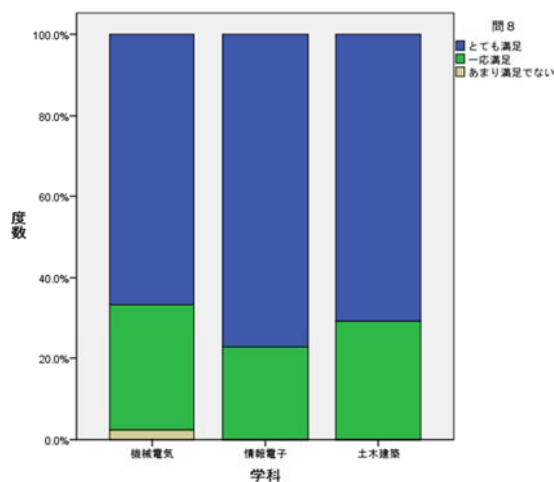


図 6 入学に対する満足感

問 22「学生相談室で相談できるとしたら、あなたは次のどのような内容について相談してみたいですか。該当するものすべての記号を○で囲んで下さい。」の結果を図 14 に示す。問 11 を反映して勉強と答える学生の割合が 81.9% と高い。学生相談室が行っている学習ルーム等の学生サポートについて潜在的な需要が示されている。

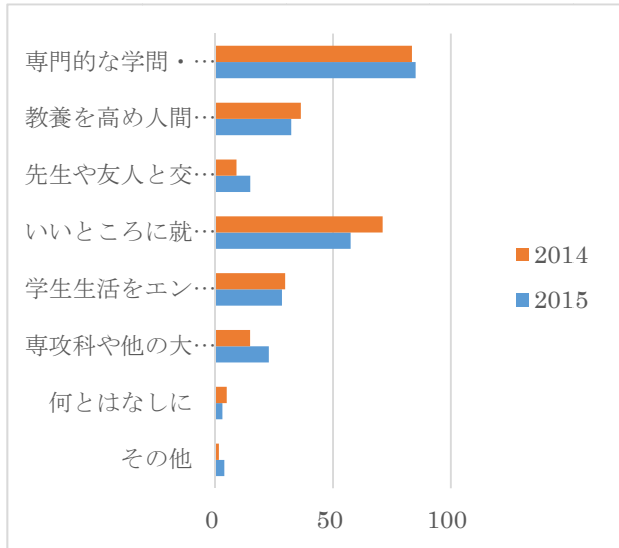


図 7 入学の目的

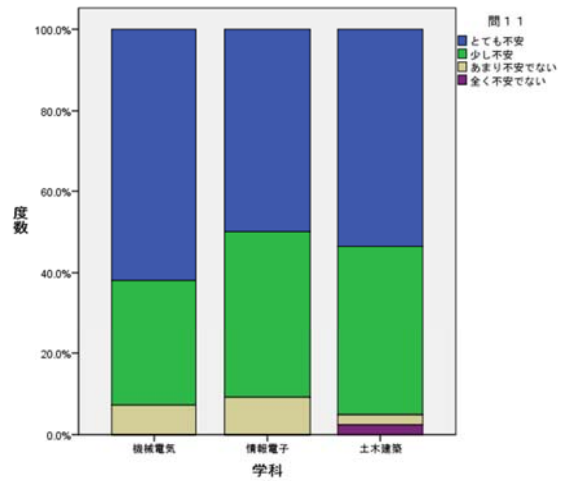


図 9 勉強への不安

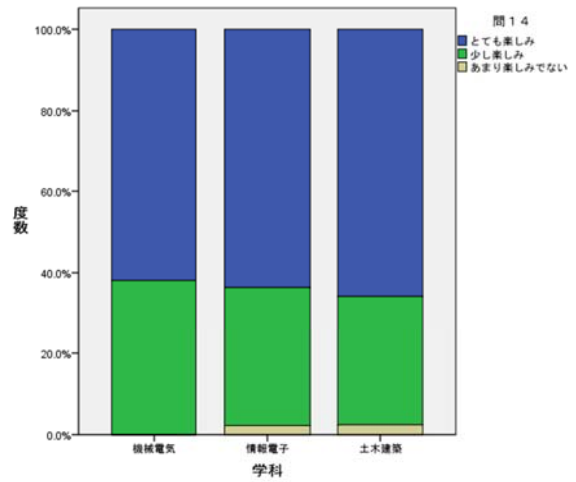


図 10 学生生活への期待

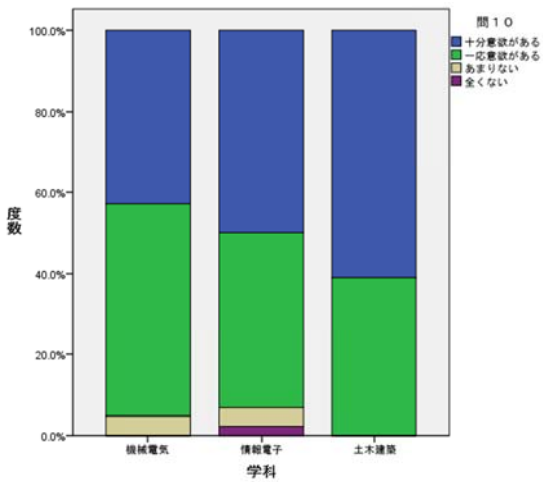


図 8 学習意欲

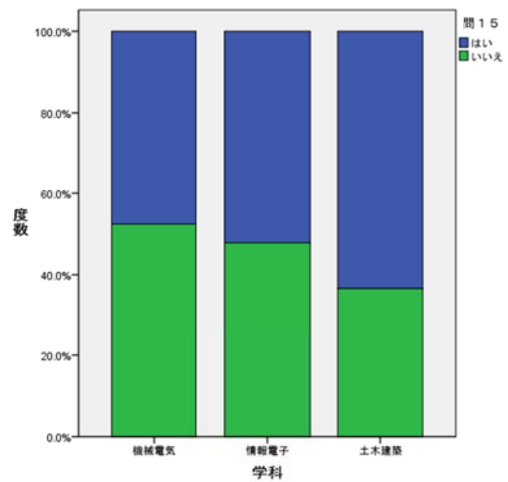


図 11 自分の将来像

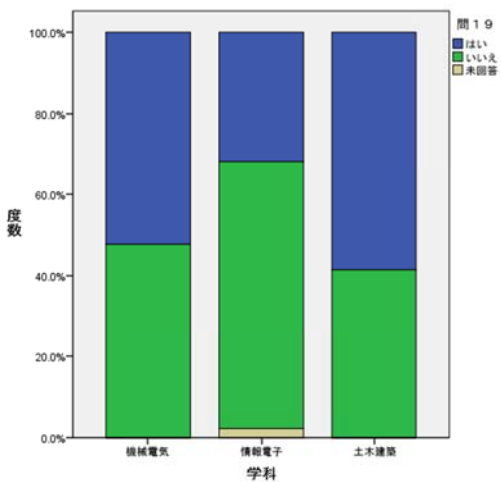


図 12 異性との交際

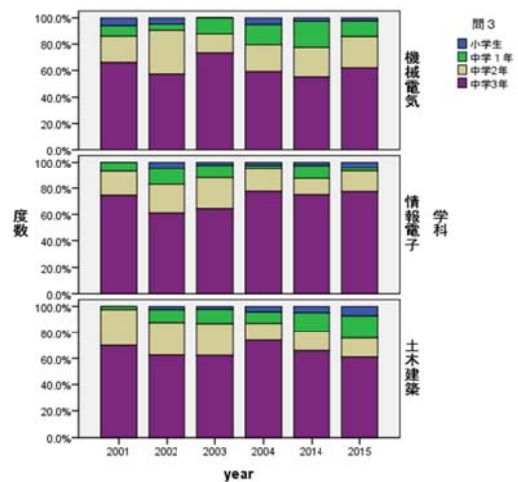


図 15 進学を決めた時期の推移

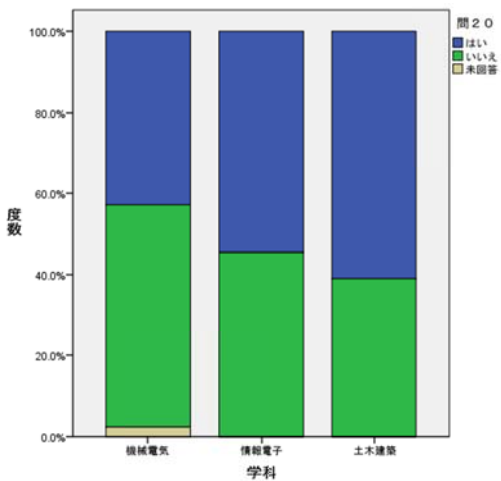


図 13 親への反抗の経験

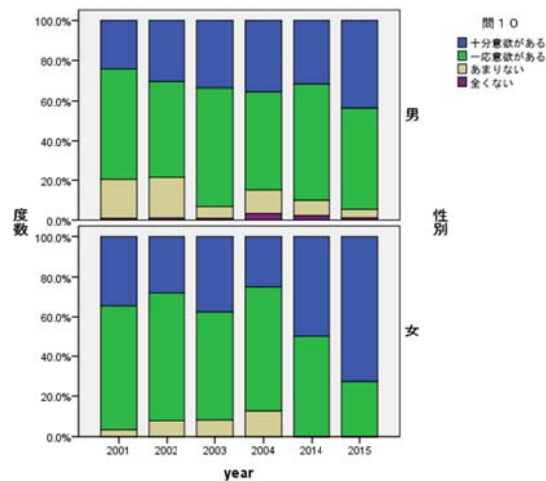


図 16 学習意欲の推移

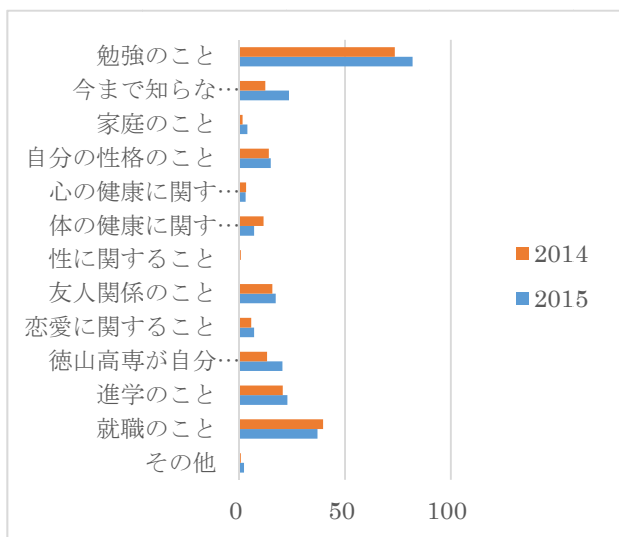


図 14 相談してみたいこと

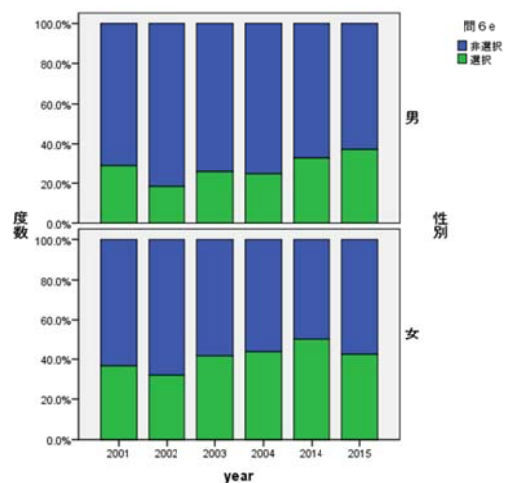


図 17 入学動機「先生や親のすすめ」の推移

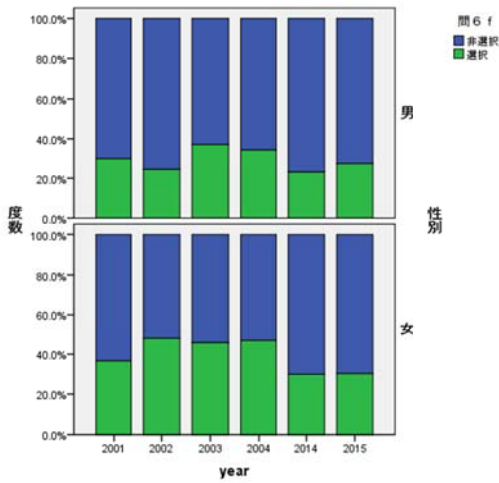


図 18 入学動機「自由な校風」の推移

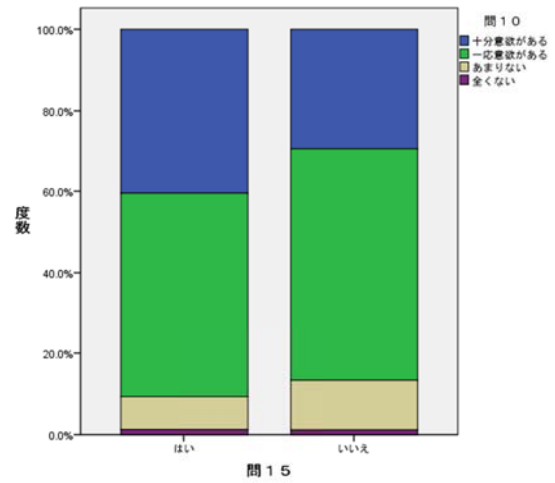


図 21 将来像と学習意欲

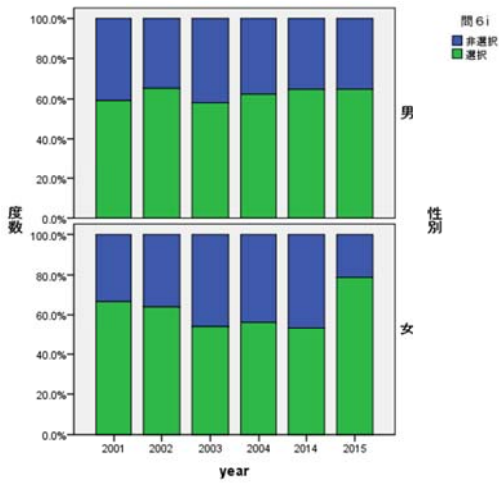


図 19 入学動機「志望に合っている」の推移

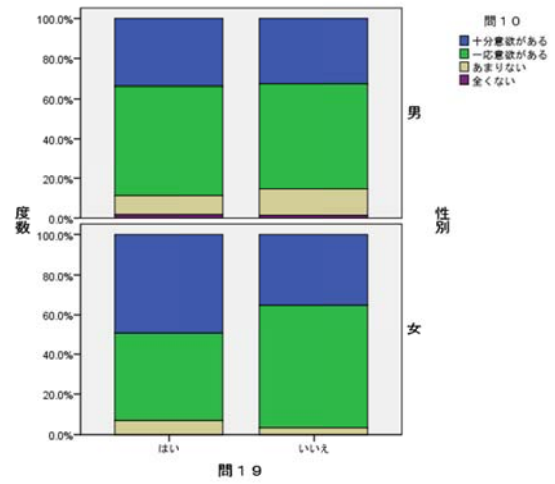


図 22 異性との交際と学習意欲

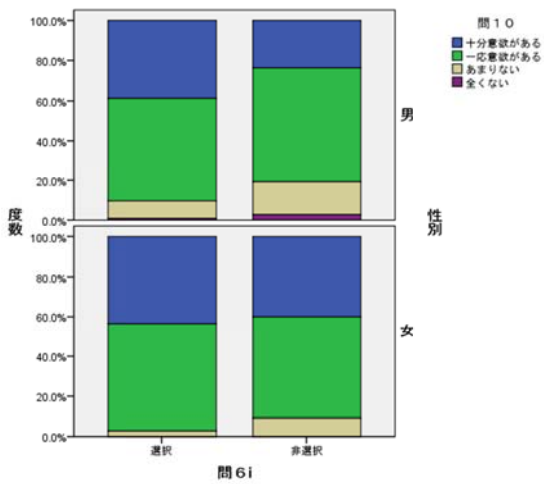


図 20 志望と学習意欲

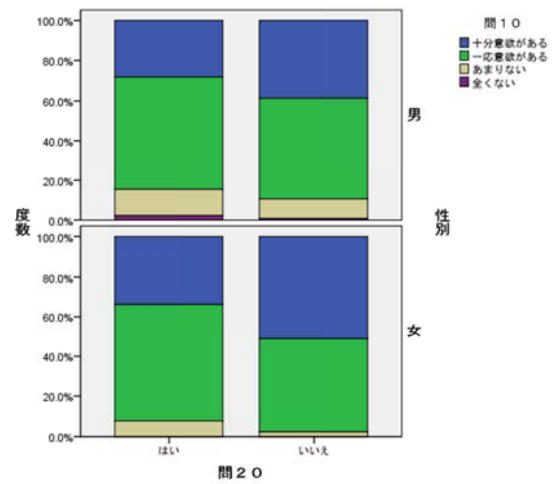


図 23 親への反抗と学習意欲

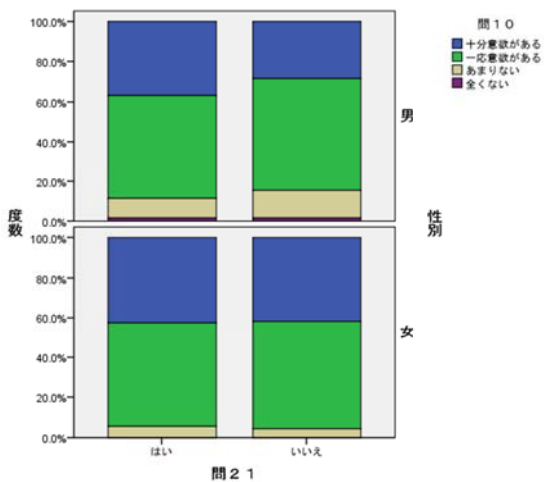


図 24 失敗経験と学習意欲

図 15 に徳山高専に進学を決めた時期について 2001～2004, および, 2014, 2015 の推移を示す。土木建築工学科において, 近年の小学, 中 1 時の割合が増加している。これは, 問 15 の将来像を描ける割合の多さ, 学習意欲との相関があり, 入学後の適応に良い効果が期待できる。

図 16 に学習意欲について 2001～2004, および, 2014, 2015 の結果を示す。男女を比べると, 近年の女子に大きな変化が表れている。今年の子の 72.7% が十分意欲があると答えている。

図 17 に入学動機として「先生や親からのすすめ」を選択した割合について 2001～2004, および, 2014, 2015 の結果を示す。男女で比べると, 女子の割合が高く, 近年の男子の割合が伸びている。

図 18 に入学動機として「自由な校風」を選択した割合について 2001～2004, および, 2014, 2015 の結果を示す。近年の女子においてその割合が減少している。これは, 校則が厳格化したことによるものと考えられる。

図 19 に入学動機として「自分の志望に合っている」を選択した割合について 2001～2004, および, 2014, 2015 の結果を示す。今年の子においてその割合が急増している。

図 20 から図 24 に, 2001～2004, および, 2014, 2015 の結果(男子:584 人, 女子:174 人)をもとに, 学習意欲に相関のある項目について検討する。

図 20 は, 問 6(i)「自分の志望に合っている。」と問 10「現在, あなたの勉強への意欲は次のどれですか。」のクロス集計を示す。問 6(i)「選択」の方がより学習意欲が高いことを示している。

図 21 は, 問 15「あなたは自分が将来どんな職業につき, どんな人になりたいか, すでに心の中で決めていますか。」と問 10「現在, あなたの勉強への意欲は次のどれですか。」のクロス集計を示す。問 15「はい」の方がより学習意欲が高いことを示している。

図 22 は, 問 19「あなたはある程度親しくつき合っている異性の友人がいますか。」と問 10「現在, あなたの勉強への意欲は次のどれですか。」のクロス集計を示す。女子では, 問 19「はい」の方がより学習意欲が高いことを示している。

図 23 は, 問 20「今までに, 反抗して親を手こずらせたことがありますか。」と問 10「現在, あなたの勉強への意欲は次のどれですか。」のクロス集計を示す。問 20「いいえ」の方がより学習意欲が高いことを示している。親子関係の良さが学習意欲に良い影響を与えるものと考えられる。

図 24 は, 問 21「今までに, 失敗や挫折をしてすごく悩んだことがありますか。」と問 10「現在, あなたの勉強への意欲は次のどれですか。」のクロス集計を示す。男子では, 問 21「はい」の方がより学習意欲が高いことを示している。

4. まとめ

昨年度は, 新入生アンケートを 10 年前の結果と比べた。少子化による受験者数の減少という状況にもかかわらず, 新入生の学習意欲, 学生生活を楽しむにしている割合, 入学についての満足感は上昇し, 好ましい状態であった。今年度も, 昨年度と同様に良好な結果を示した。特に女子の学習意欲が過去最高となった。

そこで, 学習意欲に相関のある 5 つの質問項目を検討した。まず, 自分の志望に合っていることを入学の動機にする学生は学習意欲が高い。さらに, 自分の将来像をもつ学生は学習意欲が高い。これらは,

志望の決定時期の早さにも関連する。土木建築工学科は志望の決定時期が比較的早く、学習意欲が一番高い。

次に、親への反抗のない学生は学習意欲が高いことが分かった。これは、親子関係の良さが情緒の安定へとつながり、学習意欲を高めるものと考えることができる。

つづく2つの項目は、男女で異なる傾向を持っている。一つは異性とつき合っている女子学生は学習意欲が高いことが分かった。これは男子には見られない傾向である。もう一つは、失敗経験を持つ男子学生は学習意欲が高いことが分かった。これは逆に女子には見られない傾向である。

今年の女子の学習意欲が高い理由は、徳山高専が自分の志望に合っているからであろう。近年、校則が厳しくなり、世相も反映してか、意志があり自立心のある女子学生が集まるようになってきたのではないだろうか。

入学後の適応の躓きを少なくするために、志望に合う選択をして徳山高専に入学してもらうために、校内見学会や出前授業、公開講座などを通した専門学科のPR活動を充実させることが必要である。

文献

- 1) 国重, 佐々木: 新入生アンケートを活用した入学時適応援助の方策について, 論文集「高専教育」, 第25号, PP. 455-460 (2002)
- 2) 佐々木, 国重: 高専における学生相談の具体的活用策——心理検査を利用したキャリア・ガイダンスの試み——, 論文集「高専教育」, 第25号, PP. 461-466 (2002)
- 3) 原田, 長廣, 三浦, 西尾, 松尾: 新入生アンケートに見られる平成26年度入学生の特徴, 徳山高専研究紀要, 第38号, PP. 37-44(2014)
- 4) 鳴澤: 新入生の実態調査, 東京都立大学学生相談室レポート, 9, PP. 6-42 (1980)

(2015.9.24 受理)